

平成24年（ワ）第328号、平成25年（ワ）第59号

志賀原子力発電所運転差止請求事件

原告 北野進ほか

被告 北陸電力株式会社

証拠説明書

～第61準備書面関係～

令和7年（2025年）9月16日

金沢地方裁判所民事部合議B係御中

原告ら訴訟代理人 弁護士 岩 淵 正 明

外



号証	標目 (原本・写しの別)		作成者	作成 年月日	立証趣旨等
甲A 168	調査報告書2 (能登半島地震 の避難路の状況)	写し	原告ら 訴訟代 理人坂 本義夫	2025.3.7	令和6年能登半島地震により志賀原発から半径30キロメートル圏内の避難路が32箇所で行き止まりになったこと、通行止め道路の迂回路の内4つが迂回路として機能しなかったこと、旧富来町の住民は避難がほぼ不可能であったと考えられること等
甲A 169	令和6年能登半島地震に係る志賀地域における被災状況調査（令和6年4月版）	写し	内閣府 (原子力防災担当)	2024.4.12	令和6年能登半島地震により志賀原発から半径30キロメートル圏内の避難路が32箇所で行き止まりになったこと、内5つに迂回路がなかったこと、孤立地区が14箇所発生したこと、放射線防護施設が損壊したこと等

甲 A 1 7 0	調査報告書 1 (能登半島地震 による隆起・断 層活動)	写し	原告ら 訴訟代 理人坂 本義夫	2025. 3. 7	令和 6 年能登半島地震により能登半島の西海岸が隆起したこと、その隆起の高さ、隆起した海岸までの道路の状況。 同地震により珠洲市若山町に断層崖とみられる大規模な段差が発生したこと、その段差の高さ、段差の状況 ※ なお、本書面中に「甲 2 3 1 の 2 の動画ファイルを参照」との記載がいくつか見られるが、本訴訟において同動画ファイルは証拠提出されていないので、当該記載は無視していただきたい。
--------------	---------------------------------------	----	--------------------------	------------	--